

伊賀市ごみ減量・リサイクル等推進委員会

日 程：令和7年2月18日（火）13時30分～

場 所：伊賀市さくらリサイクルセンター2階大会議室

～ 目次 ～

- 今回の策定に向けて
- 既存計画の概要
- ごみ量の実績
- 他市との比較
- 将来ごみ量
- 目標達成状況（国・県・既存計画）
- 現時点における将来の取り組み

今回の策定に向けて

- 目指すべき社会

地球温暖化や天然資源の枯渇など様々な環境問題を解決するために、廃棄物を減らして資源を有効活用できる社会を目指します。

- 一般廃棄物処理基本計画とは

一般廃棄物処理基本計画は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第1項の規定に基づき一般廃棄物の適正な処理を進めるため、長期的な視点に立ち、市町村がその基本方針を明確にするものです。

伊賀市においては、平成28年5月に策定しています。今回、計画期間満了に伴い、新たに策定するものです。

- 伊賀市ごみ減量・リサイクル等推進委員会のスケジュール

	今回	次回	最終回
	2月18日	令和7年7月予定	令和7年10月予定
内容	・ごみ排出量等の現状について	・目標値(案)について	・「一般廃棄物処理基本計画」(案)について
	・将来のごみ量(施策現状維持の場合)について	・ごみの排出抑制・資源化等の施策(案)について	

既存計画（平成28年5月策定）の概要

■ 計画期間：平成28年度～令和7年度

■ 目標値

	令和2年度	令和7年度
1人1日当たりの生活系ごみ排出量	698g	700g
1日当たりの事業系ごみ排出量	10.38トン	10.00トン
資源化率（RDF除く）	17.5%	20.0%
年間最終処分量	1.602トン	1.400トン

■ 既存の計画で立てた主な施策

● 市民

- 日常生活での廃棄物削減の取り組み
- : 生ごみの水切り、マイバッグの持参、計画的な食材購入
- 分別排出と資源回収の徹底
- : ルールに従った分別排出の徹底、資源回収の利用
- 事業者や行政との情報共有・協力
- : 取り組みの内容の発信、事業者や行政の情報収集 など

● 事業者

- 事業活動における廃棄物削減の取り組み
- : レジ袋の無料配布中止、マイバッグ持参者への特典
- 事業活動外での取り組みと協力
- : 発生・排出抑制を促進するキャンペーンの開催・協力 など

● 行政

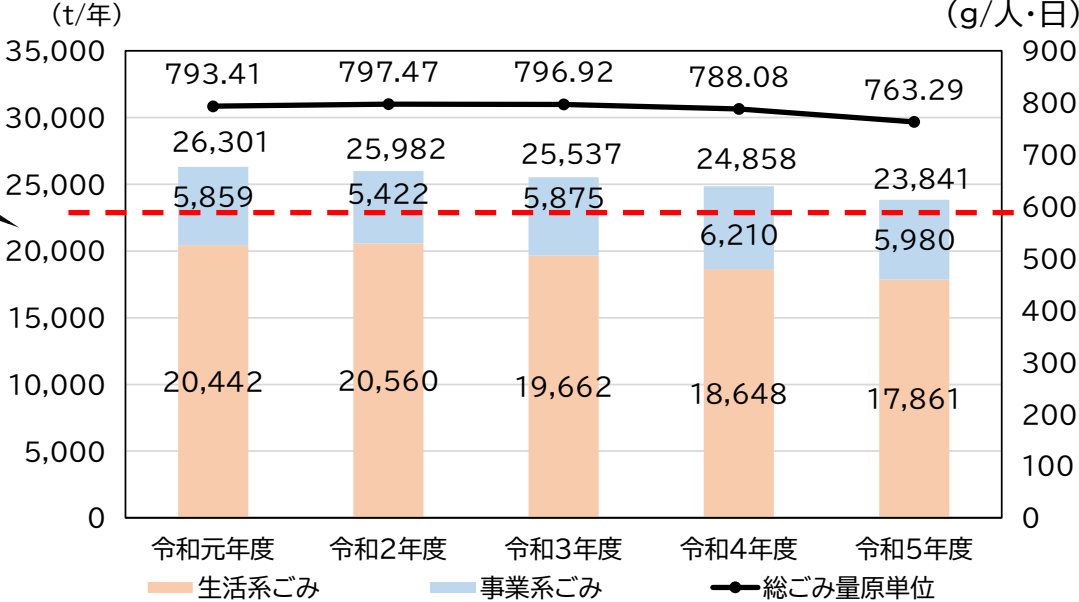
- 市民や事業者との協力と情報提供
- : 広報いが市やホームページなどの媒体を通じた情報提供
- 助成の実施
- : 生ごみ処理容器購入や集団回収に対する助成
- 自らの廃棄物の発生・排出抑制の取り組み
- : 紙ごみなどの再資源化に努める など

ごみ量の実績

● 令和元年度から令和5年度の区分別ごみ排出量を以下に示します。

			実 績					
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
人口(年度末人口)			人	90,572	89,262	87,794	86,418	85,340
家庭系ごみ	可燃ごみ	t/年	16,432	16,194	15,577	14,905	14,309	
	不燃ごみ	t/年	154	154	135	105	105	
	埋立ごみ	t/年	418	467	430	311	346	
	粗大ごみ	t/年	325	383	359	354	322	
	合計	t/年	17,329	17,198	16,501	15,675	15,082	
	家庭系ごみ原単位	g/人・日	522.76	527.86	514.94	496.95	482.86	
生活系ごみ	資源ごみ	t/年	2,900	3,183	3,061	2,872	2,708	
	容器包装プラスチック	t/年	546	562	562	559	549	
	びん類	t/年	495	470	427	401	389	
	缶類、アルミ缶、スプレー缶	t/年	42	47	44	41	39	
	ペットボトル	t/年	98	106	106	107	111	
	紙類、古紙類	t/年	1,005	1,148	1,204	1,145	1,010	
	布類、古布類、繊維類	t/年	11	15	12	11	8	
	体温計・温度計・蛍光管・電球類	t/年	1	1	1	1	1	
	乾電池類	t/年	3	6	7	8	8	
	金属類	t/年	682	802	674	580	572	
	廃食用油	t/年	9	8	9	5	9	
	小型家電	t/年	8	18	15	14	12	
	集団回収	t/年	213	179	100	101	71	
	合計	t/年	20,442	20,560	19,662	18,648	17,861	
	生活系ごみ原単位	g/人・日	616.66	631.05	613.58	591.20	571.84	
事業系ごみ	可燃ごみ	t/年	5,637	5,217	5,632	5,900	5,735	
	不燃ごみ	t/年	13	13	12	10	28	
	埋立ごみ	t/年	56	33	56	89	74	
	粗大ごみ	t/年	7	11	8	5	4	
	資源ごみ	t/年	146	148	167	206	139	
	びん類	t/年	75	71	80	70	29	
	金属類	t/年	71	77	87	136	110	
	合計	t/年	5,859	5,422	5,875	6,210	5,980	
事業系ごみ日量		t/日	16.01	14.85	16.10	17.01	16.34	
総排出量		t/年	26,301	25,982	25,537	24,858	23,841	
総ごみ量原単位		g/人・日	793.41	797.47	796.92	788.08	763.29	

-国の目標-
総ごみ排出量
22,717(t/年)



■結果

⇒事業系ごみは横ばいだが、生活系ごみの減量により

全体のごみ量は減少傾向にある

※ 原単位
家庭系ごみ 1人1日あたりのごみ量 (g/人・日)
事業系ごみ日量 生活系ごみの内、資源・集団回収を含めない量 (t/年)
事業系ごみの1日当たりの量 (t/日)

他市との比較

● 三重県内市の比較

		三重県														全国	三重県		
		津市	四日市市	伊勢市	松阪市	桑名市	鈴鹿市	名張市	尾鷲市	亀山市	鳥羽市	熊野市	いなべ市	志摩市	伊賀市		最大値	最小値	平均値
ごみ排出量	t/年	98,092	103,346	48,278	55,646	43,762	66,636	19,848	6,211	16,851	8,230	6,267	13,400	17,941	24,902	40,344,086	103,346	6,211	37,815
1人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	985	913	1,083	956	858	928	712	1,036	937	1,324	1,087	818	1,119	779	880	1,324	712	967
1人1日当たりの生活系ごみ排出量	g/人・日	720	627	741	702	601	653	510	813	749	795	892	632	804	585	620	892	510	702
1人1日当たりの家庭系ごみ排出量（資源除く）	g/人・日	581	552	592	625	529	568	480	679	667	671	744	593	706	492	496	744	480	606
1日当たりの事業系ごみ排出量	t/日	72.15	88.57	41.79	40.48	36.02	54.22	15.47	3.65	9.24	9.01	3.07	8.35	13.84	17.03	32,699.58	88.57	3.07	29.00
再生利用率	%	22.1	21.0	22.4	9.9	17.7	20.0	6.4	22.3	28.1	19.1	33.1	25.0	16.0	10.4	19.6	33.1	6.4	20.0
最終処分量	t/年	1,562	958	95	7,442	1,112	1,727	874	132	0	97	76	113	722	510	3,374,506	7,442	0	1,101
1人1日当たりのごみ焼却量	g/人・日	859	829	880	828	748	809	670	871	760	1,180	816	667	945	667	710	1,180	667	824

注)最大値 最小値 で着色する。

資料：一般廃棄物処理実態調査(令和4年度)

■比較結果

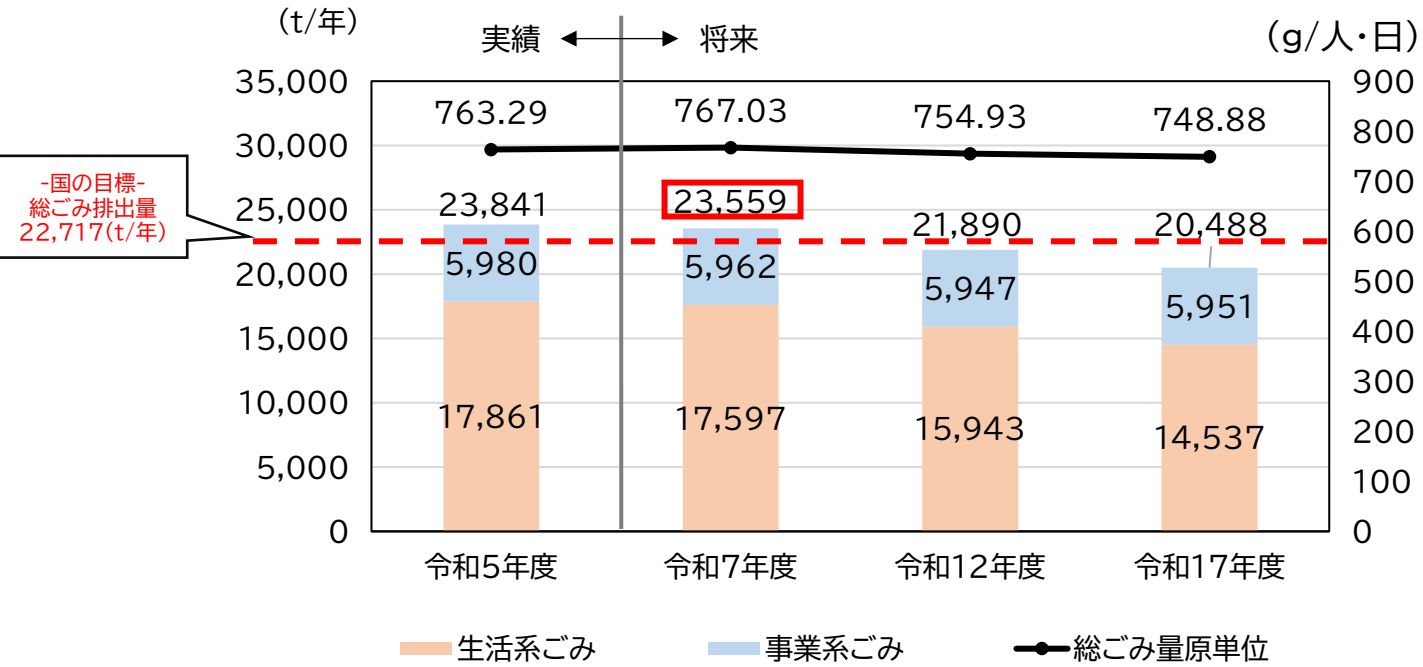
- ①1人1日当たりのごみ排出量・生活系ごみ排出量・家庭系ごみ排出量、ともに平均値より低く、比較的優れている。
- ②1日当たりの事業系ごみ排出量は、経済状況に違いがあるため、参考として掲載している。
- ③再生利用率は、最小値に近い値を示している。資源がスーパー等の店頭回収や無人古紙回収ステーション等に持ち込まれていることも考えられるが、再生利用率の向上を図っていく必要がある。
- ④1人1日当たりのごみ焼却量は、最小値であり、優れている。

将来ごみ量（施策現状維持の予測値）

● 本計画で行った推計結果(将来予測)

		実績	将来			
		令和5年度	令和7年度	令和12年度	令和17年度	
人口(年度末人口)		人	85,340	84,149	79,441	74,749
生活系ごみ	可燃ごみ	t/年	14,309	13,937	12,418	11,127
	不燃ごみ	t/年	105	111	94	79
	埋立ごみ	t/年	346	369	345	323
	粗大ごみ	t/年	322	381	415	442
	合計	t/年	15,082	14,798	13,272	11,971
	家庭系ごみ原単位	g/人・日	482.86	481.79	457.72	437.57
	資源ごみ	t/年	2,708	2,729	2,605	2,504
	容器包装プラスチック	t/年	549	580	614	651
	びん類	t/年	389	352	271	209
	缶類、アルミ缶、スプレー缶	t/年	39	43	44	44
事業系ごみ	ペットボトル	t/年	111	116	128	139
	紙類、古紙類	t/年	1,010	1,032	970	911
	布類、古布類、繊維類	t/年	8	10	8	7
	体温計・温度計・蛍光灯・電球類	t/年	1	1	1	1
	乾電池類	t/年	8	9	12	14
	金属類	t/年	572	562	531	501
	廃食用油	t/年	9	7	6	5
	小型家電	t/年	12	17	20	22
	集団回収	t/年	71	70	66	62
	合計	t/年	17,861	17,597	15,943	14,537
	生活系ごみ原単位	g/人・日	571.84	572.92	549.84	531.36
事業系ごみ	可燃ごみ	t/年	5,735	5,720	5,720	5,735
	不燃ごみ	t/年	28	15	11	11
	埋立ごみ	t/年	74	62	55	51
	粗大ごみ	t/年	4	4	4	4
	資源ごみ	t/年	139	161	157	150
	びん類	t/年	29	51	47	40
	金属類	t/年	110	110	110	110
	合計	t/年	5,980	5,962	5,947	5,951
	事業系ごみ日量	t/日	16.34	16.33	16.29	16.26
総排出量		t/年	23,841	23,559	21,890	20,488
総ごみ量原単位		g/人・日	763.29	767.03	754.93	748.88

※ 原単位
家庭系ごみ 1人1日あたりのごみ量 (g/人・日)
事業系ごみ 生活系ごみの内、資源・集団回収を含めない量 (t/年)
事業系ごみ日量 事業系ごみの1日当たりの量 (t/日)



施策現状維持で推移した場合も総排出量は減少と思われる
※ごみ減量が継続した場合でも、国の総排出量目標である
令和7年度の総ごみ排出量22,717(t/年)は達成しない

⇒その他の目標に関しても、達成するか確認を行う

目標達成状況（国・県・既存計画）

● 国・県・既存基本計画の目標値と比較

		第五次循環型社会形成 推進基本計画 (令和6年策定) (国の目標①)	第四次循環型社会形成 推進基本計画 (平成30年策定) (国の目標②)	廃棄物処理法に 基づく基本方針 (令和5年策定) (国の目標③)	三重県循環型社会 形成推進計画 (令和3年策定) (県の見込み)	既存計画の 目標値 (平成28年策定)	実績値	施策現状維持の場合	
目標年度		令和12年度	令和7年度	令和7年度	令和7年度	令和7年度	令和5年度	令和7年度	令和12年度
ごみ排出量	t/年	—	—	22,717 (平成24年度に対し、 約16%削減)	—	—	23,841 ×	23,559 ×	21,890 ○
総ごみ量原単位	g/人・日	—	約850	—	902	—	763 ○	767.03 ○ ①	754.93 ○
生活系ごみ原単位	g/人・日	—	—	—	—	700	572 ○	573 ○ ②	550 ○
家庭系ごみ原単位	g/人・日	—	約440	440	—	—	482.9 ×	481.8 ×	457.7 ×
事業系ごみ日量	t/日	—	—	—	—	10.00	16.34 ×	16.33 ×	16.29 ×
再生利用率 (目標値以上)	%	—	—	約28*	27.3	20.0	9.8 ×	10.2 ×	10.2 ×
最終処分量	t/年	570 (令和2年度の値を維持)	—	954 (平成24年度に対し、 約31%削減)	10,000	1,400	488 ○	484 ○	451 ○
ごみ焼却量原単位	g/人・日	約580	—	—	—	—	659.0 ×	660.3 ×	648.6 ×

注) *は令和9年度の目標値を示します。

■ 結論

既にごみの減量化は進んでいるが、資源化量の増加や、事業系ごみの減量等、**更なるごみ減量のために新たな方策を考える必要がある**

■ 本計画目標値の考え方【現時点】

- ・①総ごみ排出量及び②生活系ごみ原単位は国・県の目標や既存計画目標を達成しており、令和5年度値より増えないように努める。
- ・③家庭系ごみ原単位は、国の目標である440g/人・日を目指す(8.9%削減)。
- ・④事業系ごみ日量は、家庭系ごみ原単位と同じ8.9%削減の14.89t/日を目指す。
- ・⑤再生利用率は、全国平均17.7%※(令和4年度値)を目指す。※灰の資源化等除く。

現時点における将来の取り組み

Refuse(リフューズ):断る

市民 : 過剰包装の自粛
使い捨てスプーンやフォークの店頭受取の自粛
事業者: 使い捨てスプーンやフォークの店頭受渡の自粛
行政 : マイバック・マイはし等の広報・啓発

Reduce(リデュース):発生抑制

市民 : 生ごみ・食品ロスの削減
使い捨て商品の使用自粛
事業者: 繰り返し使用可能な製品等の製造・販売
包装材・梱包使用量の削減
行政 : ホームページやアプリ等の効果的な情報発信
施設搬入時の検査及び指導

4R

Recycle(リサイクル):再生利用

市民 : 分別排出の徹底
集団回収への参加
事業者: スーパー等の資源の店頭回収
水平リサイクルの推進
行政 : 製品プラスチックの分別回収
施設搬入時の検査及び指導

Reuse(リユース):再使用

市民 : リサイクルショップやフリマアプリの活用
製品の長期利用(修理や補修)
事業者 : 流通工程におけるリユース製品の活用
行政 : フリーマーケット等の開催
ホームページで不用品情報の掲載

普段の生活で感じたごみに関する課題についてご意見頂戴したい

- ・ あなたの地域のごみ集積場(ごみステーション)のごみ分別は守られていますか。
- ・ ごみを減らして資源ごみを増やすにはどうしたら良いと思いますか。
例: 生ごみの3切り運動(水切り・食べ切り・使い切り)